

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道8号 <small>うおつ なめりかわ</small> 魚津滑川バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局						
起終点	自：富山県魚津市住吉 至：富山県滑川市稲泉	延長	7.4km								
事業概要	一般国道8号魚津滑川バイパスは、交通渋滞の解消、幹線道路ネットワーク機能の強化などを目的とした延長7.4kmのバイパス事業である。										
H元年度事業化	H元年度都市計画決定 (H-1年度変更)	H4年度用地着手	H5年度工事着手								
全体事業費	約360億円	事業進捗率	84%	供用済延長	3.7km (暫定2車線) 3.7km (完成4車線)						
計画交通量	25,700～32,700台/日										
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 1.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 85/543億円 (事業費：54/470億円) (維持管理費：31/73億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 159/721億円 (走行時間短縮便益：132/571億円) (走行経費減少便益：21/114億円) (交通事故減少便益：5.5/36億円)	基準年 平成23年							
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">【事業全体】交通量：B/C=1.1～1.8 (交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">【残事業】交通量：B/C=1.7～2.1 (交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=1.3～1.3 (事業費±10%)</td> <td>事業費：B/C=1.8～2.0 (事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=1.3～1.3 (事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C=1.8～1.9 (事業期間±20%)</td> </tr> </table>					【事業全体】交通量：B/C=1.1～1.8 (交通量±10%)	【残事業】交通量：B/C=1.7～2.1 (交通量±10%)	事業費：B/C=1.3～1.3 (事業費±10%)	事業費：B/C=1.8～2.0 (事業費±10%)	事業期間：B/C=1.3～1.3 (事業期間±20%)	事業期間：B/C=1.8～1.9 (事業期間±20%)
【事業全体】交通量：B/C=1.1～1.8 (交通量±10%)	【残事業】交通量：B/C=1.7～2.1 (交通量±10%)										
事業費：B/C=1.3～1.3 (事業費±10%)	事業費：B/C=1.8～2.0 (事業費±10%)										
事業期間：B/C=1.3～1.3 (事業期間±20%)	事業期間：B/C=1.8～1.9 (事業期間±20%)										
事業の効果等 定性的な効果	<ol style="list-style-type: none"> ①新幹線駅である黒部宇奈月温泉駅へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・富山県東部地域唯一の新幹線駅である黒部宇奈月温泉駅へのアクセス性が向上。 ②地方管理空港である富山空港へのアクセス性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市から富山空港へのアクセス性が向上。 ③国際拠点港湾伏木富山港へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・黒部市内の工業集積地から国際拠点港湾伏木富山港へのアクセス性が向上。 ④日常活動圏中心都市（魚津市）へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・地上生活圏内のアクセス性が向上（魚津市役所～滑川市役所・富山市役所）。 ⑤主要観光地へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・隣接県等から魚津市・滑川市の主要観光地へのアクセス性が向上。 ⑥第三次救急医療施設への命の道としてのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・第三次救急医療施設（富山県立中央病院）への搬送時間が短縮し、救命率が向上。 ⑦物流効率化の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市・滑川市へのアクセス性が向上し、物流の効率化及び地域経済の活性化を支援。 										
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <p>魚津滑川バイパスは、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、魚津市をはじめとする3市2町の首長で構成される朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。</p> <p>国道8号は、日本海沿岸を縦貫する唯一の幹線道路であり、産業・経済の発展や情報・文化・観光等の交流促進等に大きな役割を果たしていることから、魚津滑川バイパスの片側1車線区間について、魚津市や滑川市から早期4車線化の要望を受けている。</p>										
知事の意見	<p>事業継続に同意する。</p> <p>なお、今後とも、コスト縮減に努め、早期に効果が発揮されるよう整備促進に格段の配慮を願いたい。</p>										

事業評価監視委員会の意見	
対応方針については、北陸地方整備局原案を妥当と判断する。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
平成18年12月、国道8号入善黒部バイパス（入善町上野～東狐）が暫定2車線で開通。 平成22年12月、国道8号富山滑川バイパスが全線完成4車線で開通。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
平成元年度に事業化、用地進捗率100%、事業進捗率84%（平成26年3月末時点） 平成22年度：魚津市住吉～同市佐伯間 延長1.6km（4/4）部分開通 平成25年度：滑川市北野～同市稲泉間 延長2.1km（4/4）部分開通	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
平成26年度：滑川市大掛～同市北野間 延長1.4km（4/4）開通予定 平成27年度：全線4車線開通予定 引き続き早期全線開通に向けて事業を推進する。	
施設の構造や工法の変更等	
施設の構造や工法等に変更は無いが、引き続き新技術の活用等によりコスト縮減に努めていく。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。
事業概要図	
【広域位置図】 	【位置図】 

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。